

さくらさくら幻想曲(曾根麻央)

八木節

荒城の月

リベルタンゴ(ピアソラ)

『プエフスアイレスのマリア』より Yo Soy Maria〜私はマリア〜ほか

※曲目は公式サイトをご確認ください。
※都合により曲目・曲順などを変更させていただく場合がございます。

三浦一馬×浅野祥×曾根麻央

Ken

KO
BU
SHI

Feat.
石田
泰
尚

鼓
武
士

WA 和 KYO 響

音で、斬り結ぶ。
鼓武士 VS 石田泰尚
一曲、一騎打ち!

2026年
10月1日 木
19:00
浜離宮朝日ホール

19:00, Thursday, 1st October, 2026
Hamarikyu Asahi Hall

2026年
10月26日 月
19:00
しらかわホール

19:00, Monday, 26th October, 2026
Shirakawa Hall

MOON

主催：株式会社Moon
問い合わせ先 Mitt 03-6265-3201(平日12:00~17:00)

※未就学児入場不可

※開場は開演の30分前

※車椅子席をご希望のお客様は、必ず公演の2営業日前までに MITT TICKET
にてお電話でチケットをご購入いただきますようお願い申し上げます。お連れ様が
ご鑑賞される場合もチケットは必要です。

<連絡先> Mitt TEL: 03-6265-3201(平日12:00~17:00)

鼓武士 WA 和響 KYO

三浦一馬 | バンドネオン、編曲

Kazuma Miura, bandoneon / arrangement



2006年、別府アルゲリッチ音楽祭でバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンへ渡り、現在に至るまで師事。2008年、イタリアで開催された第33回国際ピアノ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年には別府アルゲリッチ音楽祭でマルタ・アルゲリッチ、ユーリー・バシメットら世界的名手と共演。2014年度出光音楽賞受賞。NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当し、テレビ朝日「徹子の部屋」への出演など、幅広いメディアでも注目を集める。最新アルバム『三浦一馬 バンドネオン・シネマ』（ビクター）をリリース。2026年には「鼓武士」のメンバーとして、日本の伝統音楽との融合を通じ、バンドネオンの新たな可能性を世界へ発信している。使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器 Alfred Arnold。

浅野祥 | 三味線・歌

Sho Asano, shamisen / vocal



宮城県仙台市出身。慶應義塾大学卒業。3歳で和太鼓、5歳で津軽三味線を始め、三絃小田島流二代目・小田島徳旺氏に師事。14歳で津軽三味線全国大会（現・津軽三味線世界大会）最高峰A級を史上最年少優勝し、2004～2006年の3連覇で殿堂入り。17歳でメジャーデビュー後、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界各地で公演を重ねる。ジャンルを超えた演奏活動で山下洋輔、宮沢和史、yama、沖仁らと共演し、ウィル・リー、マーカス・ギルモア、リチャード・ストルツマンら世界的音楽家との作品も発表。ロックフェスやジャズフェスにも出演し、和楽器の新たな可能性を切り拓く。2023年には三絃工房と世界初となる三味線奏者のエンドースメント契約を締結。2025年には

曽根麻央とのユニット「MAOSHO」を結成し、ニューヨーク公演を成功させるなど、世界を舞台に活躍が続けている。

Kan | パークッション

Kan, percussion



高校卒業後に渡米し、ニューヨークで小川慶太氏らに師事。2016年にパークリー音楽大学へ入学し、在学中から国際的な演奏活動を展開する。これまでにBlue Note Tokyoへの出演をはじめ、ヨーロッパ各国やボストン州議事堂での公演を行うなど、国内外で幅広く活躍。参加アルバム『A Wake Of Sorrows Engulfed In Rage』（リーダー：Alain Mallet）は、第63回グラミー賞「Best Immersive Audio Album」部門にノミネートされた。2022年には小曽根真率いるビッグバンド「No Name Horses」にゲスト出演。さらに、世界的シンガー Erykah Badu との共演や、ブラジルを代表する作曲家・ピアニスト André Mehmari との共演など、ジャンルや国境を越えた音楽活動を展開し、高い評価を得ている。現在は東京を拠点に国内外で幅広く演奏活動を行うほか、日本の音楽・文化・芸術を世界へ発信するプロジェクト「MOONRISE」のアーティストディレクターを務め、舞台制作やアーティスト育成にも携わるなど、新たな音楽文化の創造にも力を注いでいる。

曽根麻央 | ピアノ・トランペット・作曲・編曲

Mao Sone, piano / trumpet / compose / arrangement



幼少期よりピアノを学び、8歳でトランペットを始める。パークリー音楽大学大学院修士課程第1期生を首席（summa cum laude）で卒業。国際トランペット連盟（ITG）ジャズ・コンペティション優勝をはじめ数々の受賞歴を持ち、世界各国の

ジャズフェスティバルに出演。帰国後はアルバムリリースやBlue Note Tokyo出演、映画音楽、Netflix作品への楽曲提供・ピアノ監修など、演奏家・作編曲家として多彩な才能を発揮している。2026年7月には、声明・弦楽器・ジャズを融合した革新的な音楽ステージ「響」の音楽監督を務める。同年、津軽三味線奏者・浅野祥とのユニットMAOSHOでアメリカデビューを果たし、日本の伝統音楽とジャズを融合した新たな音楽を世界へ発信。さらに「鼓武士」では、日本文化の魅力を現代的なサウンドで表現し、国内外で高い評価を得ている

GUEST

石田泰尚 | ヴァイオリン

Yasunao Ishida, violin



神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川県フィルの顔」となり現在は首席

ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。5月～9月にかけてミューザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。最新アルバムは2024年4月にリリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は 1690 年製 G.Tononi、1726 年製 M.Goffriller。

プレミアムシート

10,000円

（前方席・ポストカード付）

A席

8,000円

一般発売日

2026年8月15日【土】 10:00

ローソンチケット（Lコード：東京公演 33620 / 愛知公演 43620）

<https://l-tike.com/kobushi/>（PC/スマートフォン共通）

イープラス

<https://eplus.jp/kobushi/>（PC/スマートフォン共通）

チケットぴあ（Pコード：333-260）

<https://w.pia.jp/t/kobushi/>（PC/スマートフォン共通）

朝日ホール・チケットセンター（東京公演のみ）

03-3267-9990（オペレーター対応 日・祝除く10：00～18：00）

MITT TICKET

03-6265-3201（平日12:00～17:00）

ローソン・ミニストップ店内端末「Loppi」にて一般発売日以降直接購入可能

ファミリーマート店内端末にて一般発売日以降直接購入可能

セブン・イレブン店内端末マルチコピー機にて一般発売日以降直接購入可能